

「緑の人づくり」総合支援対策

【令和4年度予算概算決定額 4,810 (4,658) 百万円】
 (令和3年度補正予算額 283百万円)

＜対策のポイント＞

林業への新規就業者の確保・育成、就業前の青年に対する給付金の支給、高校生や社会人へのインターンシップ等の実施、キャリアアップ等による定着化を促進するとともに、森林経営管理制度の運用に当たって市町村への指導・助言を行える技術者の養成等に取り組みます。

＜事業目標＞

- 新規就業者の確保 (1,200人 [令和4年度])
- 労働安全の向上 (死傷年千人率 5割削減 [令和12年まで])
- 森林経営管理制度の支援を行える技術者の育成 (1,000人 [令和5年度まで])

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 森林・林業新規就業支援対策

① 「緑の雇用」新規就業者育成推進事業 4,009 (4,183) 百万円
 就業ガイダンスや林業作業士研修、造林作業者の育成、山間部での定着に向けた導入研修等に必要な経費を支援します。

※ 令和3年度補正予算においても就業時のマッチングやトライアル雇用等を支援。

② 緑の青年就業準備給付金事業 444 (413) 百万円

林業大学校等において、林業への就業に必要な知識・技術等の習得を促進し、将来的に林業経営をも担い得る有望な人材として期待される青年を支援します。

③ 未来の林業を支える林業後継者養成事業 23 (20) 百万円

高校生や社会人が森林作業を実践的に学ぶインターンシップ等の実施、林業グループの育成、山村地域で森林・林業を支える女性の活躍等を支援します。

2. 現場技能者キャリアアップ対策 292 (ー) 百万円

林業従事者の定着化促進に向け、統括現場管理責任者等の育成や技能検定制度の創設を支援します。

3. 森林経営管理制度推進事業 42 (41) 百万円

森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、市町村の森林・林業担当職員を支援する技術者を養成するとともに、全国の知見・ノウハウを集積・分析し、市町村等に提供します。

1. 新規就業者等の確保・育成

[※は主な拡充事項]

就業ガイダンスの開催、
トライアル雇用

林業大学校等で学ぶ青年への
給付金の支給
(最大155万円/年・人 最長2年支給)

高校生・社会人に対する
インターンシップ等

※ 就業時のマッチングを支援

※ 女性活躍への支援

林業への就業

フォレストワーカー（林業作業士）研修
(最大約137万円/年・人)

造林作業者の育成
を図る多技能化研修

2. 定着化の促進

キャリアアップ

フォレストリーダー（現場管理責任者）研修

フォレストマネージャー（統括現場管理責任者）研修

技能の
評価

技能検定制度の創設支援

技能評価試験の試行的な
運用を支援

3. 森林経営管理制度推進事業

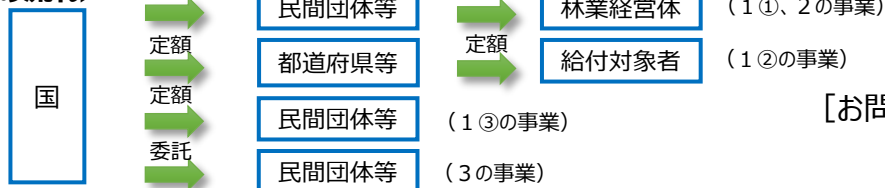
市町村を指導できる技術者を養成する研修
の実施

森林経営管理制度に関する知見・ノウハウを
集積・分析し、市町村等に提供

地域の森林・林業行政の支援体制を構築



＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 (1①、②、2の事業) 林野庁経営課 (03-3502-1629)
 (1③の事業) 研究指導課 (03-3502-5721)
 (3の事業) 森林利用課 (03-6744-2126)